



令和6年度母子保健指導者養成研修会
～妊産婦のメンタルヘルスに関する研修～

流産・死産を経験した方への支援

大阪府健康医療部保健医療室地域保健課

母子グループ課長補佐 松尾英子





～本日の内容～

- はじめに
 - ・大阪府の概要
 - ・取り組みの経過・イメージ
- おおさか性と健康の相談センター caran-coron
 - ・支援者向けセミナー動画の配信
 - ・にじいろプレイス
- 市町村母子保健担当職員研修
- ホームページ



はじめに～取組み経過～

令和3年度

- ・国の補助メニューに新たに「不妊症・不育症等支援ネットワーク事業」が追加
➡グリーンケアを含む相談支援、ピアサポート活動等を推進

- ・令和3年5月の厚生労働省より通知

- ➡「出産」には、流死産の場合も含まれるため、流死産を経験した女性を含め、きめ細やかな支援を行うための体制整備を依頼する旨通知された。

[※令和3年5月31日付子母発0531第3号厚生労働省子ども家庭局母子保健課長通知「流産や死産を経験した女性等への心理社会的支援等について」](#)

- ・市町村保健師を対象とした研修会実施（以後毎年）

令和4年度

- ・おおさか不妊専門相談センター（現：おおさか性と健康の相談センターcaran-coron）での相談支援の中にグリーンケアを追加。

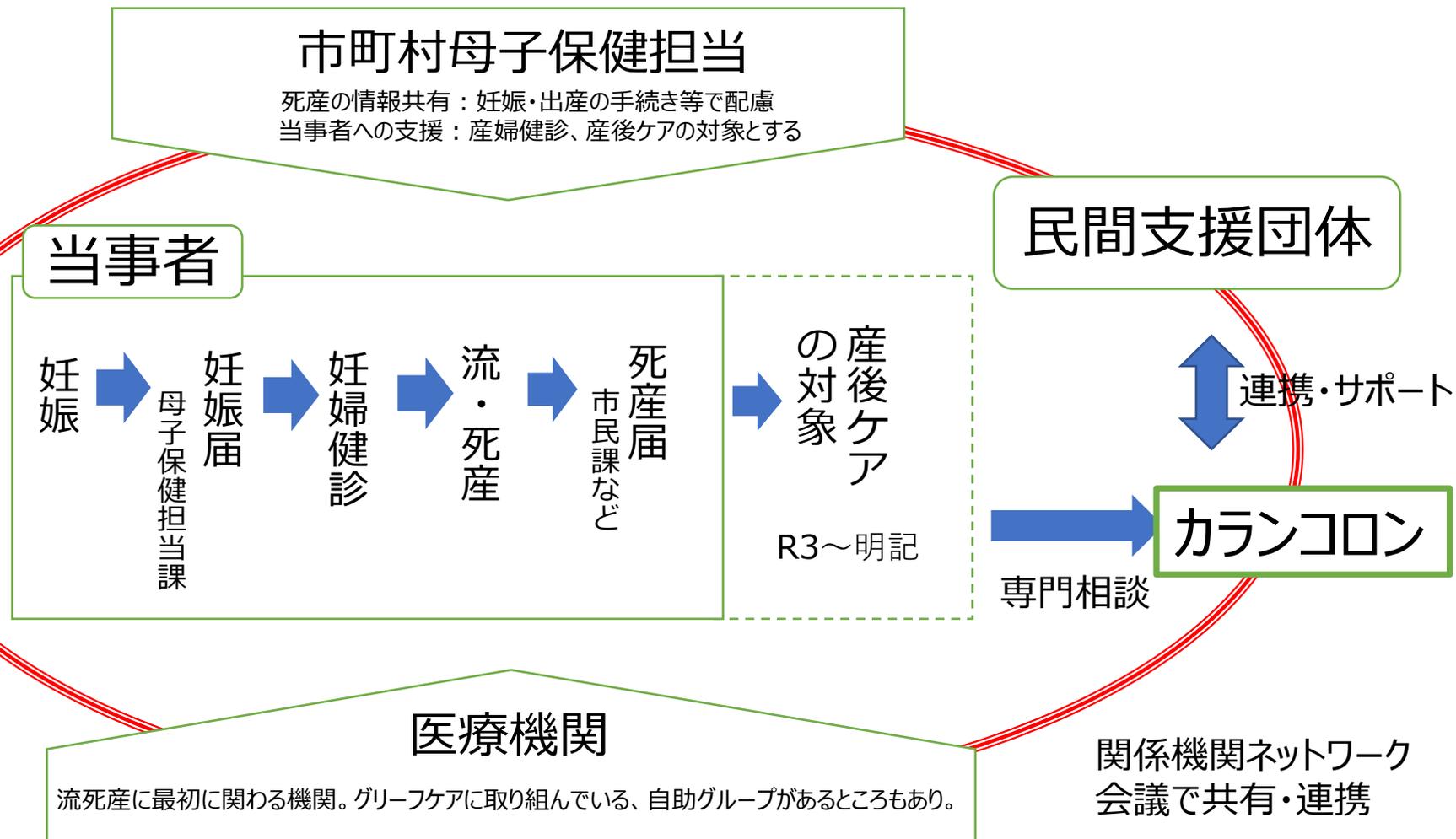
- ➡「**にじいろプレイス**」の設置 ※**サポートグループ（お話会）の実施**（月1回）

- ・大阪府庁ホームページに専用のページを作成

令和5年度

- ・「にじいろプレイス」に**個別相談**（月1回）を新たに追加。

はじめに～取組みイメージ～



【大阪府HP】 流産・死産等でお子さまを亡くされたご家族への支援について

<https://www.pref.osaka.lg.jp/kenkozukuri/boshi/ryuzan.html>

おおさか性と健康の相談センター (愛称：caran-coronカラncoron) の概要

国の「性と健康の相談センター事業」の創設に伴い、令和5年度より、これまでの「おおさか不妊専門相談センター」(大阪府・大阪市共同運営)を「おおさか性と健康の相談センター」へ名称変更し、プレコンセプションケアを含めた事業を進めています。

【不妊専門相談支援事業】

おおさか不妊専門相談センター (府市共同)

- ・不妊/不育専門相談窓口の開設
- ・インターネットを通じた情報提供
- ・セミナーやピアカウンセリングの実施

対象に思春期を追加

【性と健康の相談センター事業】

おおさか性と健康の相談センターcaran-coron (府市共同)

不妊・不育専門相談
個別相談、グループ相談

プレコン相談
チャットによる個別相談

グリーフケア
個別相談、グループ相談

啓発・研修等

セミナー配信・Webイベントなどインターネットを通じた情報提供等

【女性健康相談支援センター事業】

にんしんSOS

- ・ホームページの運営
- ・電話・メール相談
- ・保健・福祉等関係機関との連携

引き続き実施

にんしんSOS (府)

- ・ホームページの運営
- ・電話・メール相談
- ・保健・福祉等関係機関との連携

※大阪市は別途委託
(大阪市内にんしんSOSポドーム)

おおさか性と健康の相談センターの事業内容

不妊・不育専門相談

- ・ 電話相談（第1～第4週の水・金／第4土曜日）
- ・ 面接相談（第4土曜日）
- ・ カウンセリング（第1・第3土曜日、木曜日（月2回））
- ・ サポートグループ
（不妊・不育に悩む女性のお話会、
子供を持たない選択をした（しようとしている）女性のお話会）



カラダと性の相談室

- ・ チャットによる個別相談（第1～第4金曜日16時～20時）
チャット相談専用システムを使用し、助産師が対応します。

グリーフケア相談

- ・ 個別相談（偶数月第4水曜日、奇数月第4土曜日）
- ・ サポートグループ（偶数月第4水曜日、奇数月第4土曜日）

その他セミナー・研修

上記内容に関する最新情報や相談者のニーズに即したセミナーを定期的実施

おおさか性と健康の相談センターの事業内容

セミナー配信

【令和5年度実施テーマ】

- **周産期喪失を経験した母親・家族への支援～支援の現状と今後のあり方～**
- プレコンセプションケアとしてすべての子ども・若者に性の知識をとどけるために
- 出生前検査（診断）ってなに？
- 親になりたいを叶えるもう一つの選択「養子・里親」について考える

関係機関ネットワーク会議

- 「不妊症・不育症支援ネットワーク事業」の事業内容のひとつとして、令和3年度より医療機関、民間支援者団体、行政などの関係者が集い、取り組みや活動状況を共有し、相互理解を深めるための連携会議を開催。

【会議での共有内容】

医療機関

産科医療機関医師から臨床現場の現状や当事者のニーズについて報告をいただき共有。

支援者団体

不妊症・不育症に悩む方に対する支援を行っておられる民間支援機関の方々から、支援の主な内容及び活動から見える当事者の思い等を共有。

行政

不妊症・不育症について、行政が取り組む事業・制度について情報提供。

参考：【支援者対象】グリーフケアに関わる 動画配信セミナーについて

令和4年度より、おおさか性と健康の相談センターにおいて、市町村母子保健担当者や医療機関等の周産期グリーフの支援者の方を対象に、支援の在り方を考えていただく動画配信セミナーを実施しております。

【令和5年度実施概要】

●実施テーマ

周産期喪失を経験した母親・家族への支援 ～支援の現状と今後のあり方～

●実施内容

本セミナーでは、妊娠・出産で大切なお子さまとのお別れを経験されたご家族の悲嘆過程に寄り添い、支援活動を行われている自助会の方を講師に迎え、周産期喪失についての理解を深め、支援の基本姿勢を学ぶ。

●申込者数：637名

(内訳) 医療従事者：361名、自治体の母子保健担当者：218名

不妊相談センター・性と健康の相談センター相談員：22名、その他：36名

※その他：保健所職員、看護学校教員、臨床心理士等

●参加者の声

- ・周産期喪失について、初めて研修を受けた。窓口で出会うときはいきなりになるので、どう対応したら良いか手探りだったがとても参考になった。
- ・どのような声を対象者にかけることができるのか、模索していた。当事者が経験したこと、支援者として何ができるのかを具体的に学ぶことが出来て、大変良かった。

「にじいろプレイス」の概要

にじいろプレイスでは、流産、死産（人工死産）などで小さな赤ちゃんを亡くされたご家族の悲しみや心の痛みを受け止め、お空の赤ちゃんとともに穏やかな日々を過ごせるようそっと寄り添います。



個別相談

令和5年度 参加者数：17名

- 実施日時 (偶数月) 第4水曜日 10:00 ~ 12:00 (1回50分、2組)
(奇数月) 第4土曜日 10:00 ~ 12:00 (1回50分、2組)
- 対象 流産、死産（人工死産）などを経験した方やそのご家族
(※カップル、女性のみ、男性のみでも参加可)
- 相談員 当事者団体の代表者（グリーフケアアドバイザー）、助産師

「にじいろプレイス」の概要

サポートグループ（お話し会）

令和5年度 参加者数：延べ41名

- 実施日時 （偶数月）第4水曜日 14：00～16：00
（奇数月）第4土曜日 14：00～16：00
- 対象 流産・死産（人工死産）、子宮外妊娠、胎状奇体、新生児死などで小さなお子様を亡くされたママ、パパ、ご家族
- 対象人数 4名程度
- ファシリテーター 当事者団体代表者（グリーンファクトバザー）
助産師
- 主なテーマ
 - ・自身の経験
 - ・病院、保健師の対応
 - ・夫や家族との関係
 - ・職場での人間関係
 - ・今後の妊娠に対する不安 等



サポート・グループでのマナー

1. 各メンバーの話したい、話したくない権利を尊重する
2. グループ内での話はこの場限りで他言しない。他人のプライバシーを尊重する
3. 話し合いを支配したり中断したりしない。話し手に批判的にならず、また、話す事を強要しない
4. 求められない限り助言などはしない
5. 十分に話し合い聞き合う。受容し支持しあう。
6. 逃げずに自分と向き合い、正直に自分を表現する。
7. 肩書・立場・ライフスタイル・過去の体験・現在の自分にとらわれず、自分について語る。
8. 出来事にとらわれず、その時どう感じたかを語る。
9. 異なった価値基準を持つメンバーにも友情と敬意を持つ。
10. 各自がこのグループを維持する責任を負い、そのために努力する。

「にじいろプレイス」の参加者の声

- 身近に話せるところがないので良かった。
同じ経験をされた方に話を聞いてもらえ、理解してもらえたことがうれしい。
- 流産経験の話は、タブーな話だというイメージがあったが、なんの壁もなく自由に話せる場所があることに驚いた。気持ちが軽くなった。
- 午後のお話会に参加する前に、個別相談で話げできたので、気持ちを整理しやすく、とてもよかった。

こうした相談の場があることをより多くの方に知ってほしいなどのお声もあり

➡大阪府ではホームページや府内市町村の保健師を対象とした研修でもにじいろプレイスを案内しており、引き続き周知に取り組む。

市町村母子保健担当職員研修

母子保健支援技術の向上・専門相談窓口の周知を目的に実施

※厚生労働省令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「[子どもを亡くした家族へのグリーフケアに関する調査研究](#)」の手引きに沿って実施。

※妊産婦メンタルヘルスのテーマの一つとして実施

●令和3年度

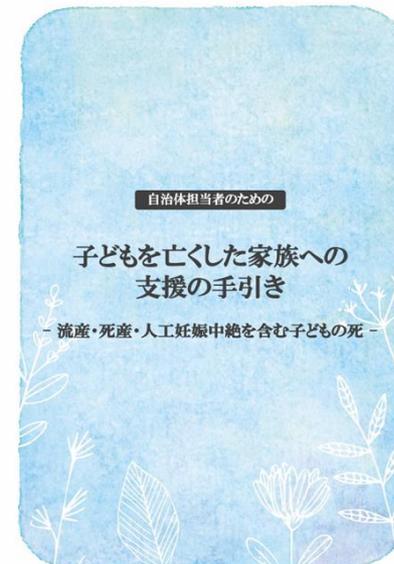
- ・グリーフケアの支援状況について市町村へ調査及び結果の共有
- ・当事者の声を直接聞くことにより理解を深める研修
- ・医療機関におけるグリーフケアの実際を学ぶ研修

●令和4年度

- ・にじいろプレイスの紹介
- ・死産届に関する情報共有など
- ・出産子育て応援交付金・伴走型相談支援開始に伴う情報共有

●令和5年度～

- ・にじいろプレイスの紹介
- ・個別相談やお話会を通して、様々な喪失のストーリーに寄り添っている支援者の取組や感じていることを共有



厚生労働省 令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
「子どもを亡くした家族へのグリーフケアに関する調査研究」

受講後の声

- ・当事者の話がとても心に響いた。 ・切れ目ない支援を考える上で、グリーフケアも含まれていると学んだ。
- ・どのようにかかわって良いか悩んでいたが、カランコロン[®]の存在を知ることができ、紹介しようと思った。
- ・何かしなくちゃと思いがちだが、しんどい時は相談してねと一言添えるだけでも良いと聞き、気持ちが少し楽になった。

流・死産等に特化したページを作成し、支援者向けの手引きの紹介や支援を必要とする方を適切につなぐ情報を発信

流産・死産等でお子さまを亡くされたご家族への支援について

流産・死産等でお子さまを亡くされたご家族への支援に関する各種情報について

大阪府では、流産・死産等でお子さまとの死別を経験された方々が、悲嘆（グリーフ）を抱えて孤立することなく、適切な支援に「つながる」ことのできるよう、様々な情報を発信していきます。

流産・死産等でお子さまとの死別を経験された方へ

■ 相談窓口について

大阪府では、「おおさか性と健康の相談センター」において、不妊・不育症でお悩みの方だけではなく、流産や死産等により大切なお子さまを亡くした深い悲しみを抱える方など、様々な悩みに対し、ご相談を受け付けています。

[おおさか性と健康の相談センター | ウェブサイトへ（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）](#)

■ にじいろプレイス（個別相談・お話し会）について

「おおさか性と健康の相談センター」では、上記の相談窓口の開設のほか、同じ経験をされた当事者同士が各々の想いを安心して語り合う場として「にじいろプレイス」でお話し会を月1回開催しています。

令和5年度からは、お話し会に加えて、月1回の個別相談を開始しました。

お話し会のファシリテーター（進行役、寄り添い役）・個別相談の相談員は、グリーフケアアドバイザー資格を持つ当事者や助産師です。

詳しくはおおさか性と健康の相談センターcaran-coronホームページ又はチラシをご覧ください。

「おおさか性と健康の相談センターcaran-coron」や「にじいろプレイス」について、案内

大阪府のホームページ

地域で活動する様々な自助グループ・サポートグループをご紹介します。

■ 地域で活動する様々な自助グループ・サポートグループのご紹介

自助グループとは、共通の悩みなどを抱える方やその家族が、自ら運営し、自主的に活動を行っているグループです。地域には様々な自助グループやサポートグループがあり、活動内容・状況も異なります。大阪府が特定の団体を推奨するものではありませんが、悩んでいる方々の出会うきっかけになればとの思いから、当課ホームページへの掲載にご了承いただいた団体をご紹介します。

- [グリーフケアはちどりプロジェクト](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

ペリネイタル・ロス後の深い悲しみの現実を1人でも多くの人に知ってもらえるよう活動している団体。

- [関西天使ママサロン\(ポコズママの会関西\)](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

流産・死産(人工死産)・子宮外妊娠・胎状奇胎・新生児死などの理由で小さな赤ちゃんを亡くされたご家族のためのお話会『ポコズカフェ』を行っています。

- [大阪ドゥーラの会](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

妊娠・出産で大切なお子さまとのお別れを経験されたご家族の悲

- [SIDS家族の会](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

SIDSやその他の病気、また死産や流産で赤ちゃんを亡くした両

- [ちくちくの会](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

流産・死産・新生児死を経験した母親達のグループ。

- [関西天使ママサロン神戸 エンジェライト](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

流産・死産(自然/人工)・新生児死などで、赤ちゃんを亡くした方のグリーフケアを目指し、お話会やワークショップを開催しています。

- [NPO法人Fine～現在・過去・未来の不妊体験者を支援する会～](#) (外部サイトへリンク) (別ウィンドウで開きます)

現在はもちろん、過去に不妊体験をした方、あるいはこれからそうなるかもと危惧なさっている方まで幅広くサポートするセルフ・サポート・グループ。

地域には様々な自助グループやサポートグループがあり、活動内容やその状況も異なるため、大阪府が特定の団体を推奨するものではありませんが、共通の悩みを抱える方が出会うきっかけになればとの思いから情報提供しています。

働く女性が利用できる制度をご紹介します

■ 働く女性が流産・死産等をされた場合

働く女性が流産・死産（人工妊娠中絶を含む。以下同じ。）した場合には、産後休業や母性健康措置の対象となる場合があります。

詳しくは、[こども家庭庁ホームページ（外部サイトへリンク）](#)（別ウィンドウで開きます）及び厚生労働省委託「[働く女性の心とからだの応援サイト](#)」（外部サイトへリンク）（別ウィンドウで開きます）をご覧ください。

• 産後休業

対象者：妊娠4か月以降に流産・死産した女性労働者。

内容：事業主は、原則8週間、当該労働者を就業させてはなりません。
（本人が請求し、医師が支障がないと認めた業務に就く場合には、

メディアからの取材を受ける中で、記者から「働く女性が利用できる制度が知られていない」との指摘を受け、追記

• 母性健康管理措置

対象者：流産・死産後、1年以内の女性労働者（妊娠の週数は問われません）。

内容：医師等から出血や下腹部痛等への対応として一定期間の休業の指導が出されることがあります。事業主は、健康診査を受けるための時間の確保や、医師等からの指導事項を守ることができるようにしなければなりません。

自治体職員・医療者等の支援者の方へ

■ 自治体担当者の方へ

厚生労働省からの関係通知等について

流産・死産・人工妊娠中絶を含む子どもの死を経験された方に対しては、関係者による情報共有や、精神的負担軽減のための配慮等が重要であることから、各自治体において地域の実情に応じたきめ細やかな支援を行うための体制整備が求められています。

- [「不妊症・不育症患者や子どもを亡くした家族に対する情報提供等について」【令和4年4月8日付 厚生労働省子ども家庭局母子保健課事務連絡】](#) (PDF: 118KB)
- [「流産や死を経験した女性等への心理社会的支援等について」【令和3年5月31日付子母発0531第3号 厚生労働省子ども家庭局母子保健課長通知】](#) (PDF: 136KB)
- [「母子保健施策のための死産情報の共有について（依頼）」【令和2年11月20日付子母発1120第1号・政統人発1120第1号 厚生労働省子ども家庭局母子保健課長及び厚生労働省統計管理官\(人口動態・保健社会統計室長併任\)通知】](#) (PDF: 114KB)

厚生労働省の令和3年度調査研究事業において、子どもを亡くした家族に関わる自治体担当者向けのグリーフケア及び相談支援の手引きが作成されています。

厚生労働省令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業「子どもを亡くした家族へのグリーフケア」

- [「子どもを亡くした家族への支援の手引き-流産・死産・人工妊娠中絶を含む子どもの死-」](#)

■ 医療機関スタッフの方へ

上記の厚生労働省令和3年度調査研究事業では、流産や死産、人工妊娠中絶に立ち会う医療機関スタッフ向けの支援の手引きも作成されています。

- [「流産・死産・人工妊娠中絶を経験した女性等への支援の手引き」\(産科医療機関スタッフ向け\)](#) (PDF: 5.520KB)
- [「子どもを亡くした家族への支援の手引き」\(小児医療機関担当者向け\)](#) (PDF: 5.001KB)

これらの手引きにおいて、流産や死産、人工妊娠中絶を経験した女性や家族を支援するためのツールとして、情報提供リーフレットが紹介されています。

- [「流産や死産を経験した女性と家族への情報提供リーフレット」](#) (PDF: 2,173KB)
- [「人工妊娠中絶を経験した女性と家族への情報提供リーフレット」](#) (PDF: 1,378KB)

自治体職員・医療機関等の支援者の方へのページ

府内市町村ホームページにおいてもリンクを貼るなど連携が進んでいます。

まとめ

- 当事者の方へ
 - ・おおさか性と健康の相談センターにおいて、当事者の方へのお話会と個別相談とサポートグループ（[にじいろプレイス](#)）を実施。
- 支援者の方へ
 - ・グリーフケアについての研修会を実施。
 - ・医療機関・自治体・民間支援機関等で開催する[連携会議を開催し、グリーフケアに取り組む団体の活動について、共有。](#)
- お知らせの方法として
 - ・「流産・死産等でお子様を亡くされたご家族への支援」に関する[情報を一元的にまとめて大阪府のホームページで情報発信。](#)

●大阪府ホームページ

「流産・死産等でお子さまを亡くされたご家族への支援について」

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100040/kenkozukuri/boshi/ryuzan.html>

大阪府 グリーフ

検索 

●おおさか性と健康の相談センター caran-coron ホームページ

<https://caran-coron.jp/>

大阪府 カランコロナ

検索 



事例発表の機会をいただきました
ことに感謝します。

ご清聴ありがとうございました。



©2014 大阪府もずやん

